

教育委員会からのお知らせ

天名小学校区 令和3年1月発行

鈴鹿市教育委員会事務局 教育政策課
☎059-382-9112 ☎059-383-7878
✉kyoikuseisaku@city.suzuka.lg.jp

令和2年10月8日(木)、第2回天名小学校の今後のあり方検討会議を開催しました。
「将来の子どもたちの教育環境としてどのような学校がよいと思うか」という視点で、委員の皆様で意見交換を行いました。

協議をする上で大切にしていること

あり方検討会議では「将来の子どもたちにとってどのような教育環境が適しているのか」という視点を大切に協議を行っています。「将来の子どもたちの教育環境」を考えた時、「複式学級」という教育環境はやはり大きな課題です。課題が大きいからこそ、学校規模適正化を地域・保護者の方たちと一緒に考えていきたいと思っています。



会議でのおもな意見

- ◇個人的には天名小の存続を願うが、児童減少問題は解決しない。
思い切って小中一貫校等、新しい学校づくりに発想を変えてもよいのではないか。
- ◇既成の概念とか、既成のルールとかそういうことにこだわっていたら、児童減少問題は乗り越えられないと思う。
- ◇天名小は御園町、徳田町にとって、コミュニティの役割を担うとても大切な学校だ。
- ◇天名小はなくなってほしくない。複式学級にもメリットがあるはずだ。
- ◇複式学級にならない保証があるならば、小規模特認の制度を利用したいが、保証がないならば、統廃合しかないのかなと思っている。
- ◇「5年後だけでなく、20年、30年後の子どもたちも集団教育ができる学校」を考えるのであれば、思い切って天栄小学校を建ててもらったらいい。
 - ◇他の学校から天名小に来てもらったり、統合したりして、子どもが一番いい環境で勉強できるようにしたい。
 - ◇天名の良いところを残しつつも、子どもたちがたくさんいる環境で、のびのびと育ってくれたら嬉しい。
 - ◇「子どもたちにとってどんな環境がいいか」に尽きる。その辺を考えると、これからのことを考えてもらいたい。
- ◇学校も古いし、行政は人の少ないところにお金を使わないで、大きい学校に使っているように思ってしまう。
予算の関係で天名小を削るとかはやめてほしい。
- ◇我々も単に賛成・反対だけではなく、我々自身がどういう町であってほしいのか、しっかり考えなければならない。
- ◇みなさんの意見をすべて満足する形にするには、どういう風にしたらよいのか。
単に話し合いだけを設けて、それで納得するような会議では困る。行政はこれをどのようにまとめていくのか。



児童生徒数の20年推計や「学校規模適正化・適正配置に関する基本方針」など、学校規模適正化に関するいろいろな情報を教育委員会ホームページに掲載しています。スマートフォンからは、右のQRコードを読み込み、アクセスしてください。

